

# 躍 YAKUDO! 動 SPORTS

山形市体育協会だより

第16号

## SPORTS PEAK PERFORMANCE



山形市体育協会

**山形銀行女子バスケットボール部 見事 2冠!!**  
**平成20年全日本実業団バスケットボール競技大会 初優勝**  
**第4回全日本社会人バスケットボール選手権大会 初優勝**



全日本実業団バスケットボール競技大会において  
最優秀選手賞に選ばれた  
渡辺 千尋 選手 (大会通算78得点)

全日本実業団バスケットボール競技大会は、9/13～15まで千葉県船橋市総合体育館で決勝を行い、山形銀行が鶴屋百貨店（九州）を60-57で退けて初優勝。最優秀選手賞には、大会通算78得点を挙げた山形銀行の渡辺千尋選手が選ばれた。

また、第4回全日本社会人バスケットボール選手権大会は11/2～3まで宮城県白石市文化体育活動センターで決勝を行い、山形銀行（実業団1位）が鶴屋百貨店（九州・実業団2位）を77-68で下し初優勝した。

全日本実業団大会に続き2冠となった。

# 頂点

PEAK

植松 知奈津  
Uematsu Chinatsu



私がライフセービングと出会ったのは、大学に進学し部活動を定める時でした。小学生の頃からスイミングクラブに入り、競泳一筋で十二年間を過ごしてきた私でしたが、大学ではその競泳の経験を生かして何か新しいことにチャレンジしたいという気持ちを強く持っていました。今までと違うことは、競泳をしていた時は自分のために一生懸命練習して結果を残すことに喜びを感じていましたが、ライフセービングは自分のためだけに練習しているのではなく、溺者を少しでも早く救うためにしている活動だということ。自分のこれまでの競泳人生の努力

が、他の人を助けることに貢献できるということが私にとってのやりがいでもあります。ライフセービングは主に夏季に海水浴場で監視活動をしたり、その監視活動のための知識や技術を勉強したり、トレーニングをしています。それだけではなく、社会福祉にも力を入れており、様々なボランティア活動にも参加しています。また、ライフセービング競技もあり、救助機材をレース用にしたりクワフトを使ったレースや海を泳ぐレースなどがあります。

今年の九月に御宿で開催された「三洋物産インターナショナルライフセービングカップ二〇〇八」という国際大会に日本代表として出場してきました。私はこの大会で国際大会の経験が三度目になります。海外選手とは体格も速さも格が違いましたが、結果は日本チームの大健闘で終わりそれに自分が貢献することができたことが何より嬉しく思っています。

私はあと一年で大学を卒業し社会人になります。そうになると、普通の競技であれば引退ということになりませんが、ライフセービングは一生続けていけるスポーツです。まだ先の話ではありませんが、監視活動だけでも良いし、何か自分に出ることで貢献していきたいと思っています。そしてそのためにも、まずは来年度に向けて日々成長し、監視の上でも競技の上でもトップを狙っていききたいと思っています。



植松知奈津選手

生年月日 一九八七年八月三日  
出身校 山形市立第三小学校  
山形市立第五中学校  
山形県立山形北高等学校  
競技歴 競泳 十二年  
ライフセービング 三年  
現所属 順天堂大学ライフセービング部  
湯河原ライフセービングクラブ

競技成績

06'	第十九回全日本ライフセービング室内選手権大会	二〇メートル障害物レース	三位
06'	第二十一回全日本学生ライフセービング選手権大会	サーフレース/タップリン	三位/三位
07'	第二十回全日本ライフセービング室内選手権大会	二〇メートル障害物レース	二位
07'	U.S Asia Pacific Region Lifesaving Competition 2007 in Singapore	二〇メートル障害物レース	二位
07'	第二十二回全日本学生ライフセービング選手権大会	サーフレース/タップリン	優勝/三位
07'	INTERNATIONAL SURF RESCUE CHALLENGE in Australia	サーフレース	五位
08'	第二十一回全日本ライフセービング室内選手権大会	二〇メートル障害物レース	三位
08'	一〇〇メートルマネキンキャリアウイズフィン		二位
08'	第二十一回全日本ライフセービング種目別選手権大会	サーフレース	優勝
08'	三洋物産INTERNATIONAL LIFESAVING CUP 2008 in 御宿	レスキュー/レスキュー/ポードレスキュー	三位/二位/二位
08'	オアシャンウーマンリレー		二位
08'	サーフチームレース		二位
08'	第二十三回全日本学生ライフセービング選手権大会	サーフレース/オアシャンウーマン	優勝/三位
08'	ポードレース/オアシャンウーマンリレー		五位/四位
08'	レスキュー/レスキュー/レスキュー/ポードレスキュー		二位/二位/二位
08'	第三十四回全日本ライフセービング選手権大会	サーフレース/オアシャンウーマン	優勝/五位
08'	オアシャンウーマンリレー		五位



# 輝かしき記録に想う



## ミスダンスドリルチーム日本大会

ダンスドリル個人

山本学園高校・ダンスドリル部 工平美紀

私は、ミスダンスドリルチーム日本大会の個人部門に初めて出場しました。毎日の練習では団体部門の方の練習をしていて、どの部門も高い目標を立てていたので時間内に個人の練習はできませんでした。そのため三時間の練習の後に一人残って自分の練習をしていました。一人で残って練習するのは初めての経験で私の心の中には、みんながいないという寂しさと、自分で自分の演技を良くすることができないという辛さがありました。私はそんな時両親やチームメイトに相談していつもはげしてもらいました。すると自分

の中にあつたもやもやした気分も演技に集中することができるようになりました。さらにこの大会では人格も評価されるためスピーチの練習を部長と一緒に頑張りました。

大会当日、他の二部門も終わってあとは私の演技だけになりました。私も不安になりました。いつもフロアに立つと隣には仲間がいるのに今回はフロアに一人だけです。その時一緒にいてくれた部長に「一人じゃない、みんな一緒だよ。」と言われて頑張る力をもらいました。演技はみんなの気持ちも背中に受けて踊る。スピーチは今まで私を支えてくれた仲間、両親、コーチ全員への感謝を伝えようと思いました。本番の演技は全ての力を出しきって踊ることができました。フロアに立つのは一人でも全員が同じ気持ちになって優勝できたことがなによりうれしくて、やっていて良かったと思えました。私のこれからの目標は、三月に行われるアメリカ大会で上位に入ることです。しかしこの目標は簡単なものではありません。ですからいつも努力と感謝の気持ちを忘れず、自分ができることを精一杯頑張りたいと思います。そして多くの人々にダンスドリルの楽しさを伝えていただけるように活動していきたいです。

## 全日本大学グレコローマン選手権大会

日本体育大学・山形商業高校卒 尾形翼



今回出場した全日本大学グレコローマン選手権大会は、私が一年生の頃から目標としていた大会でした。この大会は個人の成績の総得点で競う団体戦で、各階級一人しか出場できません。先輩方が今まで戦っていた姿を見て、私も大学の代表として全国の舞台で活躍してみたかった憧れの大会でした。しかしいざ代表になると失敗をしてしまうのではないだろうかなど不安があったり、本番で焦りがでたらどうしようかと心配がありました。集中力を維持させるのは難しく、八月に自分の目標であったインカレ優勝をしたということもあり、どこか気持ちが乗らない部分もあったのかもしれない。そんな時に他の階級で出場する先輩が、「最後の大会だからタイトルを残したい」と言っている姿を見て、私も三年生という余裕を無くし、最後の

チャンスでという気持ちで集中し直し、試合に挑むことができました。本番では無事に勝つことができ、試合内容も納得できるものでした。個人戦での勝利とは違う嬉しさを経験しました。

これからはルールの変更があり、今までは違う技術が必要となってきました。これまでの戦い方では勝つ事が難しくなってくるので、更に高い意識で自分のスタイルを確立していくことが大事です。十二月に全日本選手権大会があり、その後には国際試合も控えています。これまでの成績に満足することなく、向上心を持って練習していくつもりです。来年には四年生になり大学最後の年を迎えます。後悔のないように、全力で何事にも取り組んでいきます。そして国内ではトップクラスに、また世界でも活躍できる選手になりたいと考えています。



# 輝かしき記録に想う

## 全国中学校体育大会剣道競技

山形大学附属中学校 佐藤 全



平成二十年度の全中剣道大会は、チューリップで有名な富山県砺波市を会場に、八月十一日から三日間の日程で開催された。前日に空路北陸入りした私は、降り立った空港の青空を見上げ、これまでのライバル達との激闘やお世話になった先生方の事を思い出し、武者震いしたのを覚えている。

地元中学生のブラスバンドの生演奏で幕をあげた大会は、会場全体の熱気と全国から集まった選りすぐりの精鋭達の期待と興奮が入り混じる中、八コートで一斉に試合が始まった。どの選手も力が拮抗しているためか延長戦が多く、私のコートがその後五時過ぎとなった。いい意味での緊張感を長時間維持する事が難しく、強豪と言われる選手達が次々と負けしていく様子を目の当たりにし、私の

心と身体は固まる一方だった。しかし、自分の中の不安を必死に振り払い、得意の面で勝ち上がっていった。そして三回戦目は、九州チャンピオンの福岡の選手。互いに攻め切れず延長戦となった。自分の技を信じて、磨き上げてきた面で勝負一閃、審判の旗が自分に上がり、最終日に進んだ。向かえた準決勝の相手は、茨城県の選手。気合の乗った相面で始まった試合は、互いに一歩も譲らぬ気迫のぶつかり合いとなった。勝負を面に賭け、思いきり飛び込んだが、審判の旗は相手に上がり、あえなく頂点に立つ夢は潰えた。しかし、なぜか心は晴れ晴れとしていた。結果は昨年と同じ全国三位だが得意技で勝負し切った満足感と、追われる立場、勝って当たり前という壁を乗り越えて、ここまでたどりついた充実感で一杯だった。

今後は、達成できなかった「日本一」の夢に向かい、更に稽古に精進していく覚悟である。これまでお世話になった先生方や仲間そして、家族に心から感謝すると共に、後輩たちから目標とされるような人になれるように、人間としての資質も磨いていこうと思っている。

## 全国総体に出場して得たもの

全国高等学校総合体育大会

陸上七種競技第二位・山形北高校二年 岡部ソフィ満有子

今年の七月末から八月初めにかけて埼玉県で行われたインターハイ。私は、七種競技で二位という結果を残すことができました。しかし入賞に到るまでは、本当に苦しい自分との戦いでした。

インターハイ本番は心配されたほど気温は上がり天候等のコンディションはよかったです。しかし、現地での調整練習でなかなか調子が上がらず不安を残したまま本番を迎えることとなってしまいました。

競技当日も調子は上がりず、走高跳は十一位という結果に終わってしまいました。翌日から始まった七種競技も今までにないほど調子が悪く、途中何度も投げだしてしまいたくありませんでした。しかし、先生や仲間達、家族、本当にたくさんの人に支えてもらい、六種目まで記録は悪いながらもなんとか持ちこたえられました。

た。そして最終種目の八〇〇メートル。それまでの悔しさをすべてぶつけるつもりで走り、今までで一番良い走りができました。そして、総合順位も四位から二位へと上げることができました。

今回のインターハイは、自分の納得のいく競技ができず何度も悔しい思いをしました。しかし、周りのたくさんの人々の支えを実感することもできました。苦しい時も、周りの仲間達の励ましでまた頑張ろうと思えました。泣きたい時も、家族の顔を見て落ちつくことができました。そして先生の「最後まであきらめない」という言葉が、次へと向かうための力となりました。

スポーツは一人の力ではできません。本当にたくさんの人に支えられ励まされながら競技しています。当たり前ですが、今回改めて痛感しました。今年は思ったような結果は残せませんでした。この苦しい経験が必ず今後生きてくると思います。周りの人への感謝を忘れず、練習に励んでいきたいです。



**S P O R T S P E A K P E R F O R M A N C E**

大会名	競技名	氏名	所属	種目	順位
陸上アジアオールスター	陸上	安孫子 充 裕	筑波大・上山明新館高	男子400m	1
三洋物産インターナショナル ライフセービングカップ2008	ライフセービング	植 松 知奈津	順天堂大	U22 ポートレスキュー(ペア)	2
				U22 サーフチームレース(チーム)	2
				U22 レスキューチューブレスキュー(チーム)	5
世界女子アマチュアチーム選手権	ゴルフ	大 江 香 織	宮城東北高・日大山形中出	女子アマチュアチーム	5
自転車ロードレース ジャパンカップ	自転車	土 井 雪 広	スキル・シマノ 山形電波工高	男子自転車ロードレース	9
北京オリンピック	バレーボール	高 橋 みゆき	NEC	女子バレーボール	5
	新体操	三 沢 樹 知	山形RG	女子団体	10
	フェンシング	原 田 めぐみ	県体育協会	女子エペ個人	15
	陸上	安孫子 充 裕	筑波大	男子1600リレー	予選6
	サッカー	豊 田 陽 平	モンテディオ山形	男子サッカー	予選敗退
第63回国民体育大会 「チャレンジ! おおいた国体」	陸上	安孫子 充 裕	筑波大・上山明新館高	成年男子200m	1
	ソフトボール	県 選 抜		成年男子ソフトボール	1
	バスケットボール	山 形 県 選 抜		成年男子バスケットボール	3
	ボクシング	山 本 佑 哉	日大山形高	少年男子バンダム級	3
				少年男子ライトフライ級	5
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形高	少年女子B100mバタフライ	4
	空手	浅 野 允 玲	東海大山形高	少年男子組手	5
	競泳	庄 司 有 太	秋田ゼロックス・日大山形高出	成年男子100m背泳ぎ	5
	レスリング	須 藤 学	日大・山形商高出	成年男子フリースタイル55キロ級	5
				少年男子フリースタイル55キロ級	5
	陸上	熊 坂 香 織	スポーツ山形21	成年女子800m	6
	ポウリング	越 後 拓 真彦 白 井 政	山本学園高	少年男子団体	7
	バレーボール	県 選 抜		成年男子6人制バレーボール	7
	競泳	山 本 和 幸	日大山形高	少年男子A200m背泳ぎ	8
陸上	鈴 木 寿 英	モリヤ・山形中央高出	成年男子800m	8	
陸上	斎 藤 真 也	山形中央高	少年男子B3000m	8	
全日本実業団バスケットボール競技大会	バスケットボール	山 形 銀 行		女子バスケットボール	1
夏季ピストル大会	ピストル	奈良崎 隆 一	山形県警	男子25mセンターファイアピストル(60発)	1
全日本大学グレコローマン選手権大会	レスリング	尾 形 翼	日体大・山形商業出	男子55キロ級	1
第34回全日本ライフセービング選手権大会	ライフセービング	植 松 知奈津	順天堂大	サーフレース女子の部	1
				オーシャンウーマンの部	3
スピードスケート全日本距離別	スピードスケート	加 藤 条 治	日本電産サンキョー	男子500m	2
ミスダンスドリルチーム日本大会	ダンス	工 平 美 紀	山本学園高	ミスダンスドリル部門	1
南部記念	陸上	安孫子 充 裕	筑波大	男子400m	3
全日本学生選手権	新体操	庄 司 七 瀬	東女体大・山形城北高出	新体操女子個人総合	2
				新体操女子種目別 ロープ	2
				新体操女子種目別 フープ	2
				新体操女子種目別 リボン	3
新体操女子種目別 クラブ	4				
日本学生対校選手権陸上競技	陸上	安孫子 充 裕	筑波大・上山明新館高	男子400m	2
				男子400mリレー	2
				男子200m	2
全国高校総合体育大会	陸上	岡部ソフィ満有子	山形北高	女子七種競技	2
	柔道	山形中央 団体	山形中央高	女子団体	5
	柔道	渡 部 大	山形工業高	男子81キロ級	5
	競泳	渡 辺 耶 唯	日大山形高	女子200mバタフライ	3
全国高校女子レスリング選手権大会	レスリング	杉 本 恵	山形商業高	50キロ級	3
全国中学校体育大会	剣道	佐 藤 全	山形大附	男子個人	3
ジュニアオリンピック夏季水球競技	山形水球クラブ		山形水球クラブ	B区分(15歳以下男子)	2
全国障害者スポーツ大会	水泳	高 橋 公 夫	NTT-ME山形	男子25m背泳ぎ	2
				男子25mバタフライ	2
		石 山 美 星		女子25m自由形	2
				男子50m自由形	2
		日 向 大 吾		男子50mバタフライ	3
				男子50m自由形	4
	石 原 健		男子25m自由形	4	
			男子50m自由形	4	
アーチェリー	塩 野 忠 彦		男子コンパウンド50m・30mラウンド	2	
フライングディスク	吉 沢 祥 子		アキュラシー・ディスリート5	7	
			女子ディスタンス	8	



ゴミで困っていませんか？  
まずはお電話ください。

株式会社  
**キヨスミ産研**

本社 / 〒990-2351 山形市鋳物町3番地  
TEL. 023-646-7306  
FAX. 023-646-7307



皆様の競技力向上はお任せ下さい  
チーム指導も御相談下さい

TOPROAD 総合スポーツクラブ  
**TOPROAD**  
〒990-0039 山形市番町三丁目2-1(山交ビル6F) ☎023-641-0101

## 山形市レスリング協会

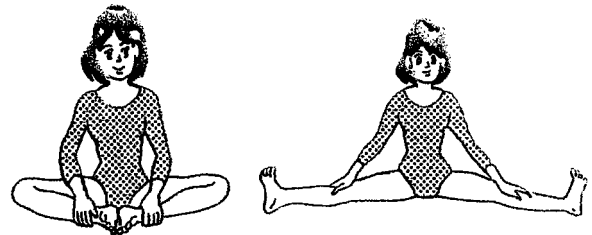
事務局 山形市東原町2-6-31(安達西)  
電話 023-631-5752

- ☆ 少年レスリング教室  
毎週日曜日 9時～ 山形南高
- ☆ 中学校レスリング教室  
毎週日曜日 10時～ 山形南高



ちびっ子集まれ!

若さを保つ健康体操 「真向法」



社団法人 真向法協会  
**山形真向法協会**

〒990-0822 山形市下条町4-1-6  
(電話 023-644-6462 Fax共)

山形市水泳連盟

**AMAGATA**  
**swimming**  
**YSC club**

アカルク  
タノシク  
ゲンキヨク

山形スイミングクラブ

**会員募集中**

〒990-2477  
山形市長苗代61 スポーツ会館内  
TEL 023-644-2670  
090-7320-2695  
Yamagata.swimming.club@docomo.ne.jp

## 山形市山岳連盟

フリークライミングに挑戦してみませんか  
初心者にもご指導いたします

会長 後藤又兵衛  
理事長 富樫 庄一

事務局 〒990-0034  
山形市東原町2丁目4番25号  
會田 茂雄  
TEL 624-0447

Snack ほほえみ



禮子

山形市香澄町1丁目3-4 (開沼ビル)  
Phone 631-1570

Grill

SPORTSMAN

山形市落合スポーツセンター内

TEL023-625-6672

グリルスポーツマンでは、(平日) 定食・カレー (カツ)  
パスタ・麺類等のメニューをご用意しております。  
山形市落合スポーツセンターへお越しの際は、是非  
グリルスポーツマンをご利用下さい。

お待ちしております！！

コーヒー・お弁当のご注文も  
承ります。

山形市卓球協会

会長 青木 茂 明  
理事長 小山 久 雄  
事務局 東海林 博 子

祝 柔道ルネッサンス

・夢・友情・敬愛・挑戦

- ・あいさつは大きな声で元気よく
- ・「こんにちは」からはじめよう！
- ・ポイ捨ては自分の心も捨ててるよ。
- ・ゴミはちゃんと捨てて帰ろうね。
- ・友達との出会いは一生の宝物だよ。
- ・友達をいつまでも大切にしよう！
- ・困っている人を見たら勇気を出して手を差し伸べよう！



来た時  
よりも美しく

山形市柔道連盟

会長 二戸 昭夫  
副会長 五島 洋寿 有海 長一  
          太田 忠明  
理事長 高橋喜久雄  
副理事長 仲島 勝利  
事務局長 武田 淳一  
事務局 山口 有三 太田 清栄  
          開沼 敏行 吉野 浩幸

がんばれ！！  
モンテディオ山形

山形市サッカー協会  
会長 後藤三郎

山形市ソフトボール協会

会長 多田 光男  
副会長 杉沼 徹  
副会長 千葉 昭男  
理事長 森川 勝三

事務局：990-2341 山形市大字柏倉 17-2  
黒田 重孝  
TEL：090-8784-6729

## 山形市合気道連盟

船越 光雄



山形市での最初の合気道活動は、昭和四十一年山形大学小白川キャンパスでの部活動から始まりました。その後、昭和四十四年十月に財団法人合気会山形県支部を開設し、本格的に活動を開始しています。昭和五十二年四月に山形市合気道連盟が発足、昭和五十七年四月には山形県体育協会に加盟。競技種目でない団体の体育協会加盟は困難を極めました。多くの方々のご理解とご支援により加盟を果たすことができました。

現在、山形市合気道連盟の活動は山形市総合スポーツセンター、山形県武道館、市立第三中学校武道館、山形大学体育会合気道部、県立山形南高等学校合気道部、山形市高校合気道教室、トップロード合気道教室、エスポルト合気道教室、山形七日町カルチャー合気道教室を拠点として、老若男女、幼稚園児までもが稽古に励んでいます。山形市は「スポーツ都市宣言」をし、「一人一スポーツ運動の推進」を掲げております。市民の健康増進と生涯学習スポーツ及び青少年の健全育成の役割の一端を担い、市体協並びに関係各位のご協力のもと、山形市合気道連盟はこれからも地道な活動を推進したいと思えます。



## 山形市レスリング協会

理事長 深瀬 廣悦

県内のレスリング競技は、昭和二十九年、中央大学レスリング部OBが中心となり、山形市立商業高等学校に創設したのが始まりで、昭和三十一年、笹原正三氏が第十六回メルボルンオリンピックで、金メダルを獲得するという快挙を達成し、一躍、脚光を浴びることになりました。

本協会は、平成四年に開催されたベにはな国体の競技開催地に決まったことを受け、運営母体強化のため平成二年に発足しました。

べにはな国体では、これまでの大会記録を更新する最高得点で念願の優勝を果たし天皇杯獲得に大きく貢献したことと、多くの方々の期待に応え、悲願を達成した瞬間の感激の光景や役員の方々の安堵した表情が懐かしく思い出されます。

今年の成績は、第五十六回全日本社会人レスリング大会の団体戦第三位、第三十五回東北総合体育大会で団体総合第二位、そして、全日本大学グレコローマン選手権大会で山商出身選手が優勝するなど、「レスリングの山形」の名に恥じない活躍を続けております。

また、北京オリンピックでは、五個のメダルを獲得し、全国の方々に感動を与えたとともに、あまり知られていない競技ですが、テレビ観戦することで、より身近に感じて貰えたものと

思っております。

今後とも、山形県レスリング協会と連携を密にし、小・中学生を対象とした継続者の育成、高校生への指導・強化及び社会人大会への積極的に選手派遣と支援を行うなど、レスリング競技の普及発展とオリンピックメダリストの誕生を目指し、活動して参りたいと考えております。





写真提供：山形新聞社



安孫子充裕 選手  
(筑波大学・上山明新館高出)  
第63回国民体育大会  
成年男子200m  
優勝(大会タイ記録)



山形水球クラブ  
ジュニアオリンピック  
夏季水球競技  
B区分(15才以下男子)  
2位

山本 佑哉(日大山形高)  
第63回国民体育大会  
少年男子バンタム級 3位



## 地区振興会巡り 第12回(樺沢地区)

樺沢地区体育振興会 会長 石澤 伊郎

樺沢地区体育振興会は三つの地区で構成されております。上樺沢地区、下樺沢地区、西原地区、上樺沢、下樺沢地区は大半が農業を営んでいる昔からの地区です。一方西原地区は下樺沢地区の西の方に位置して、昭和四十五年八月に東西南北の地区から転入され、当時は「樺沢団地」としてスタートされました。昭和五十八年三月から「山形市西原」と新しい名称に書替えられ再スタートし現在に至っております。各種団体の運営事業には「樺沢地区」として参加しております。樺沢地区体育振興会は、体育指導員の行事とは別に各々事業を行っておりますので、これからは体振と一つの行動として事業を推進して行けば、もっと幅の広い新しい事業が生まれてくると思います。体振の年間の事業は、毎年同じ事業内容で、六月には地区球技大会、男子ソフトボール大会、女子ソフトボール大会、九月には第三ブロックの(西部地区)男子ソフトボール大会、この大会の勝利地区は十一月三日の市球技大会に参加、男子ソフトボール大会、女子ソフトボール大会、翌年二月には樺沢地区民のボウリング大会、ここ数年同じ事業内容です。これも事業に参加する人員の少なさが問題です。昨年からの市の運動会が中止になった時から、地区の住民からは安堵の声が聞かれる事が有りました。スポーツに感心がないのか、個人的に多忙過ぎて参加出来ないのか、例えば地区の運動会を行うとしたら役員の方々には、朝夜一軒一軒家庭訪問し、それでも良い返事が貰えない現状です。従って毎年同じ事業で変化のない体育振興会の年が終るのです。新しい年度を迎えても同じ事業を一つ一つ消化して行くだけです。新しい事業を計画しても、地区民の方々は参加して下さらないし、事業について来てくれません。毎月一回役員会を開きますが、地区民が参加して下さる事業が何かないのか話し合いしても結論がでないまま役員会終了。毎回このような会合の繰り返しです。いづれにしても事業に参加して下さる人数の少なさが体振の事業を孤立化している様な気が致します。

# 第八回全国障害者スポーツ大会

二十五メートル背泳ぎ 二部 第二位

NTT TIME山形 高橋 公夫

念願叶い三度目の出場となった全国障害者スポーツ大会は、優勝を目標にしていた私にとってさまざまな心境の変化をもたらし、いろんな意味で大きく前進した大会でありました。

今年には絶対出場すると決意し、これまで以上に泳ぎ込んだ毎日。六年ぶりに出場を決めて喜んだのもつかの間、三年前に痛めた古傷を治療しながらの練習はとても歯痒く、不安を抱えての出場となりました。さらに、大会前日の公式練習には独特の緊張感があり、若くて力強い泳ぎの選手達に圧倒されてしまいました。気持ちの切り替えがうまくいかぬまま大会当日のレースを迎えたため、



思い通りのスタートが出来ず他の選手のキックの水しぶきで遅れている事に気がつきました。焦るな、諦めるなど自分を叱咤し気持ちを奮

い起たせ渾身の力で追い上げ、最後の一掻きで力一杯ゴールにタッチして振り返った電光掲示板には、大会新記録の文字が目映いばかりに輝いていました。しかし、大会新記録にもかかわらずタツチの差で二着に終わってしまった瞬間、喜びと同時に悔しさと後悔の気持ちに襲われ、自分のふがいなさに嫌気が差しました。

振り返れば、五十歳を過ぎ体力的、体格的に恵まれずとも、目標を見失わず決して諦めず続けていく努力を惜しまなければ、必ず結果はついて来るとこの大会の記録が教えてくれたのだと思います。今後は自分を信じ、何事にも前向きに挑戦する気持ちを忘れず泳ぎ続けていきたいと思っています。

最後になりましたが、遠路はるばる応援に駆けつけて下さった山形市水泳連盟の先生方、そして団長はじめ、役員、コーチ、ボランティア、これまで日々の練習で私を支えて下さったすべての皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

## 山形商工会議所にスポーツ振興支援を要望

平成20年11月21日、山形商工会議所（山澤進会頭）に対して、スポーツ振興への支援を要望いたしました。

### 具体的な要望の内容は

- ① スポーツ選手、指導者の積極的雇用
- ② 企業におけるスポーツ組織の育成と支援
- ③ 選手、審判員、競技役員等の大会参加への理解と支援
- ④ 企業の有するスポーツ施設の利活用
- ⑤ 大会等開催事業に対する協賛
- ⑥ 体育協会諸活動への理解と支援です。

早坂会長から山澤会頭に要望書を手渡し、協力を求めたところ、会頭から「スポーツ施設の利用などさまざまな面で協力をしたい。」とのお話をいただきました。

今後、山形商工会議所と具体的な施策について協議を進めてまいります。



「躍動」へのご意見・ご感想をメールにて受け付けております。右記のアドレスへお送り下さい。

[info@yamagatasi-taikyou.jp](mailto:info@yamagatasi-taikyou.jp)

### 躍動 第16号 2008 DECEMBER

[発行] 財団法人山形市体育協会  
 [編集委員] 菅井悠武・安達敏美・早坂 豊・奥山敏一・池田卓郎・荒井敬次郎・塩野悦子・柿崎俊春  
 [事務局] 〒990-2477 山形市長苗代61番地 山形市スポーツ会館内 TEL 023-647-4175 FAX 023-645-5595  
 [ホームページ] <http://yamagatasi-taikyou.jp/> [印刷] (株)大風印刷

#### 管理施設

山形市総合スポーツセンター	〒990-0075	山形市落合町1番地	TEL. 023-625-2288	FAX. 023-625-2285
福祉体育館	〒990-0021	山形市小白川町2-3-33	TEL. 023-635-1771	FAX. 023-635-1771
南都体育館	〒990-0035	山形市小荷駄町7-110	TEL. 023-641-6705	
江南体育館	〒990-0863	山形市江南1-1-27	TEL. 023-684-4296	
沼の辺体育館	〒990-0007	山形市沼の辺町4-33	TEL. 023-625-2288	